

生成AI(チャット GPT)の全庁実証実験について

1 概要

生成AI(チャット GPT)については、本年4月以降、DX推進課において実証実験を行った結果を踏まえ、国が求めるセキュリティ基準を満たし、職員専用の総合行政ネットワーク(LG-WAN)上で動作するシステムについて全庁へ試験導入し、本格導入へ向けての実証実験を行おうとするものです。

また、入力したデータから個人情報等が流出してしまわないよう、ガイドラインを作成し、職員への注意喚起を図るとともに、情報流出を防止できる安全に配慮したシステムを試験導入しようとするものです。

2 DX推進課における実証実験の主な結果

- ・短時間で求める回答が入手可能であるが、質問力が問われる。
- ・誤った語句を含む回答が散見されるため、文節ごと語句のチェックが必要。
- ・入力データの個人情報等流出リスクから保護できるシステムが必要。

3 対象者及び全庁実証実験期間等

日時	内容
8月9日(水)	DX推進リーダー会議(生成AI知識習得、ガイドライン周知等)
8月21日(月) ～9月1日(金)	生成AI全庁実証実験実施期間(職員アンケートを並行で実施) 対象:正規職員(約830名)
9月～11月	導入判断(職員アンケート等参考)
令和6年1月～	本格導入予定

4 全庁実証実験での確認事項

- ・利用頻度、利用目的(実績)、仕事の効率が向上したか、回答は適切なものだったか、新しいアイデアや知識が得られたか、GPT3.5とGPT4ではどちらが適切な回答が得られたか、今後利用したいか等について職員アンケートを実施する予定です。
- ・個人情報が入力された際のAIによる規制動作の確認も行います。

5 ガイドラインについて

- ・市が利用するシステム向けに作成したものです。画像データや商用利用等にも触れた汎用性の高い職員向けガイドラインです。
- ・データ入力時に注意すべき事項と生成物を利用する時に注意すべき事項を分け、職員が理解し易いように、実施して良いことと悪いことを明確に例示しています。
- ・日本ディープラーニング協会が公開している「生成AIの利用ガイドライン」を参考に作成しています。

6 全庁実証実験の結果について

- ・実証実験後、結果を整理し、導入判断を11月までに行う予定です。
- ・導入が決定した場合、申し込み手続きを経て、令和6年1月までに本格導入を予定しています。

担当:DX推進課 情報政策担当
電話:36-7133 FAX:37-8200
メール:jouhou@city.shimada.lg.jp